



令和4年1月1日現在	
世帯数	983戸
人口	2,303人
男	1,151人
女	1,152人

# 年頭のごあいさつ

内田地区町会連合会長 横山 峰敏



明けましておめでとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい年をご家族皆様で迎えになられたことと思います。

明るい話題をと思いますが、何においてもコロナウイルスのことが先行します。

私たち町会役員に引継ぎされた後もコロナ感染症の影響で町会活動も制約され思うに任せない状況が続いています。

三大大事である大運動会は前年に続き中止とし、計画していたササラまつりは予期しない災害級の大雨と避難所開設もあつて、やむなく中止となりましたが、地区文化祭は穏やかな好天の中、力作揃いの展示物と和やかなひろばサークル発表など皆様のおかげ

で華やかに開催することができ、ひとつでも行事が実施でき嬉しく思います。また、大雨で延期した打ち上げ花火は文化祭前日に感染症退散、地域を元気づける願いも込め、夜空に大輪の花を咲かせてくれました。

ササラまつりに使用する歌詞を書いた障子を張り替えしました。これから行事に使いますので目にしていただけたらと思います。

行政への要請及び懇談では、公共交通のバスの利便性・安全なバス待合場所、動物飼育業者や産業廃棄物業者への指導状況・違法建築物について意見が交わされました。すぐに解決できない問題ではあります。使いやすい交通機関、安全で暮らしやすい環境への指導強化について確認がされました。改善や解決がさ

れるまで要請は続けていきます。

最近では予防接種が進み感染者ゼロの日が続いています。新たな変異ウイルスの心配はありますが飲食、コンサート、イベントなど縮小・自粛の要請が解除され、いつもの毎日を取り戻しつつありますので、今年こそコロナ感染症の影響がなくなり、以前の生活になることを信じ、変わらずマスク・手指の消毒・換気・3密対策の感染予防をします。一層のご協力をお願いいたします。

昨年、松本カントリークラブが開場50周年を迎えました。また、パラリンピックチームの練習コースに東山麓線が選定され、松本マラソンは内田地区がコースになっていきます。今後もアルプスの見える環境を大切にしていきたいものです。



## ひろば 街角ウォーキング



▲パルコ de 美術館

10月26日(火) 福祉ひろばのレクリエーション企画で、路線バスに乗って「街角ウォーキング」に出かけました。

松本城とその北側の湧水を巡り「ブラタモリ」でも通った道を歩くのはとても新鮮でした。通りがかりの四柱神社では七五三のご祈祷に訪れた家族が多く、木々の紅葉に色を添えていました。午後はパルコへと向かい、「パルコ de 美術館」を鑑賞。暫しアートの世界に浸りました。

車生活の日常を抜け出して、松本の街並みを皆と歩くのは楽しく、健康に良い満足感あふれる企画でした。もちろん「パルコ de ランチ」がメインだったなんて誰も思っていないですよ。

福祉ひろば 横木 ゆかり

### 受賞おめでとう

「ごさいます」

松本市スポーツ協会表彰

11月29日(月)、令和3年度松本市スポーツ協会表彰式典が行われ、スポーツ推進委員の佐藤兼平さんが精励表彰を受けられました。

佐藤さんは、平成23年から現在までスポーツ推進委員(当時体育指導員)を務められ、今回長年の功績が認められ表彰されました。

1月30日(日)開催の「二



▲佐藤兼平さん(右)

「ユーススポーツ体験会」では、佐藤さんにパラリンピックの正式種目「ボッチャ」等のユーススポーツをご指導いただく予定です。

文化芸術  
講座

「長野県立美術館鑑賞と善光寺参拝」

11月14日(日)とてもいい天気。絶好の視察研修日和。長野県立美術館、善光寺目指しに出発。参加者20名、松本市のバスにて目指せ長野市。あきちゃん(丸山公民館長)の「今日は、下道で長野に向かいます。」とのアナウンスに、「オー、久しぶりの下道」と一人で興奮。和気あいあいと自己紹介も終わり、下道の景色を満喫しながら犀川沿いを進む。途中災害で土砂崩れの復旧現場を通過。災害の大きさを目の当たりにし、改めて内田はいい場所だなと再認識している間に県立美術館到着。新装なった美術館シンブルでシルバーな外観。併設されている東山魁夷館から鑑賞。学生時代に描かれた風景画が主に展示。絵画のすばらしさもよく



▲宿坊で精進料理



▲長野県立美術館

わからないのに、わかった様にうなずきながら鑑賞。唐招提寺御影堂障壁画展が二日後から開催とのこと。「こっちは見たかったね」の声。本館に移動し、いろんな画家の絵を鑑賞。ちよつと心が豊かになったので、腹も豊かにしに宿坊へ。宿坊へ移動中の仲見世通りは、すごい人。人をかきわけ宿坊へ到着。精進料理を上品にいただく。その後仲見世通りを散策。旅行あるあるで、お土産はあまり買わないぞと思いつつも店出る時は両手に紙袋：遠くから善光寺参拝し帰路へ。丸山館長、石原主事おつかれ様でした。

第1町会 酒井孝夫

しめ縄・蒸かし  
饅頭づくり



12月4日(土)、「しめ縄・蒸かし饅頭づくり(内田公民館主催協力子ども会育成会)」を開催し、大人6名子ども11名の参加がありました。講師は、古幡進一さん、丸山幸英さん、農村女性協議会の皆さんです。参加したお子さんからの感想を掲載します。

最初は縄をよれなかったけど、練習していくうちにできるようになって楽しかった。  
第9町会 山田 心也

初めてしめ縄作りをやってうまくできなかったところもあったけど楽しかったです。またできたらやりたいです。  
第9町会 秋山 羽月



最初は全然あむことができなかったけど、友達が見せてくれたからできるようになって楽しくできました。また機会があったら作りたい。  
第9町会 和田 咲桜



▲生地を伸ばし具を包みます



▲紙垂(しで)をつけて完成



▲しめ縄作り

つれづれ編集記

この編集記を書いている頃、その年の世相を1字で表す今年の漢字が「金」に選ばれたと発表がありました。主な理由として、東京五輪・パラリンピックで日本人選手が多数の金メダルを獲得したほか、プロ野球の大谷翔平選手、将棋の藤井聡太四冠の活躍による金字塔などが挙げられていました。

このような明るい話題があった一方で、海外で感染が確認された新型コロナウイルス新変異株の感染が日本でも確認され、未だ終息が見えない状況です。年末年始は多くの移動が予想され、更なる感染拡大が懸念されます。今年各地区行事も感染拡大により大きな影響がありました。関係者の努力により、開催することができた行事もありました。

ワクチン接種も進んでいます。令和4年が安心して暮らせる穏やかな年であることを願います。この困難を皆で乗り越えましょう。

第5町会 丸山 宏幸